

9

川が輪になったような流水プールでの泳ぎを考えよう。泳ぐ人は流水の真ん中を泳ぎ、水の流れも泳ぐ速さも一定とします。泳ぐ速さは、普通の動いていない水の中では分速30mとする。

水流と同じ方向に泳ぐと、1周して同じ場所に戻って来るのに2分ですんだ。

水流と反対方向に泳ぐと、1周して元の場所に戻るのに10分かかりました。

(32) 分速30mは時速何kmですか。

(33) 泳ぐ人の地面に対する速さは方向によって、水流の速さとたし算になったり、引き算になったりします。プールの1周の長さを x m、水流を分速 y mとして連立方程式をつくり、プールの1周の長さ、水流の速さを求めなさい。

分からない量

- ・地面に対する流水の速さ
- ・静水に対する泳者の速さ
- ・プール1周の長さ

以上3つのうち2つを未知数に置き換えての連立方程式の応用問題です。